

e-MOOK

MonoMax

特別編集

本体 920円+税

宝島社

100 ROOMS

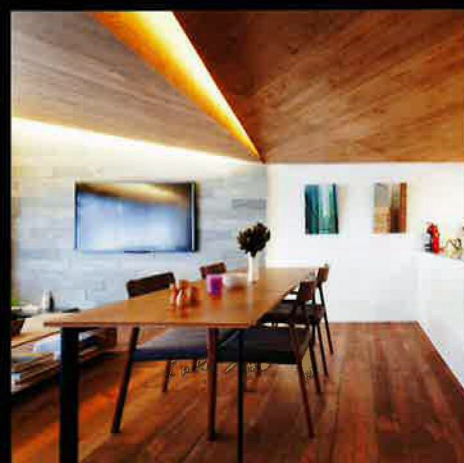
アイデア満載
100人の
こだわり
部屋拝見

ワンハンドレッドルームズ



おしゃれなインテリアテクニク 602

クリエイター / ナチュラル / インダストリアル / スタイリッシュ / ホビー / アダルト





中央にカウンセリングテーブルを配置。「クライアントがリラックスできるようにと選んだ椅子に、自分が一番癒やされています(笑)」

No.

046

Room Data

カウンセラー
種村翔太さん



① 仕事関係の本や小説がずらりと並び本棚。ディスプレイスペースとしても使えて、カウンセリングルームにぴったりのアイテムだ。

② キッチンまわりもシンプルさを重視。「無駄なものは置かない」「掛けるものは掛ける」「シンプルなデザインで揃える」が鉄則。



④ カウンセリングに訪れたクライアントだけでなく、来客もうれしいカフェカウンター。コーヒーマシンやグラス、ワインなどが並ぶ。



③ バスルームとトイレのドアはブラック。ドアノブや電気カバーの色はシルバーで、細部まで「シックな色と質感」を大事にしている。

クールで落ち着きのある カウンセリングルーム

必要なものと似合うものだけでシックにまとめる

カウンセラーの種村さんの自宅は、カウンセリングルームを兼ねたワンルーム。物件を探していた4か月前、REISMのホームページをたまたま見かけ、「自分はここでカウンセリングをする気がする」と直感し、すぐに入居を決めたという。

コンクリート壁や黒い天井、剥き出しの配管が醸し出すクールなイメージを活かすため、無駄なものはいっさい置かないように気をつけているそう。また、カフェカウンターや暖色系のポールのライトや植物もプラスして、シックでクールなだけではない、「知的で落ち着いた感のある部屋」が完成。この部屋の一番の自慢だという壁一面の本棚には、食器類や植物、雑貨などを色、質、シルエットのバランスを計算してディスプレイ。「ここが埋まるくらい本を増やしていきたいですね」とのこと。



服やファッション雑貨がとこる狭しと並ぶ空間。ソファから自分がコレクションしてきたものすべてを見渡せるところがいい。

No.

073

Room Data

会社員
E.Iさん



- ① 光が差し込む大きな窓。「お店をまわっても気に入ったカーテンがなかったため、服やガーメントケースを掛けて代用しています」
- ② 「いさぎよさを感じる、シンプルなインテリアが好きです」。傘立てのデザインやアートの飾り方からもE.Iさんらしさが伝わる。
- ③ ストールなどは形を揃えて配置すればまるでオブジェのよう。お気に入りのポストカードやポスターを貼ることで壁まわりも華やかに。

自分の人生を詰め込んだ 「大人のワンルーム」

洋服が大好きで10年ほど前から海外ブランドを中心にコレクションしてきたというE.Iさん。ハンガーラックに掛けて部屋の中心に置くことで、今までの自分の生き様を振り返っているような感覚になるそう。自分史を語るうえで欠かせない服を彩るのは、美大の卒業制作で作ったハンガーラック。ヴィンテージ感のある加工は服を掛けるなくても圧倒的な存在感を放つ。

「この部屋に住む前は窓が少なかったので、窓が多いこの部屋に来てからカーテンの必要性に気がついた」というが、なかなか気に入ったカーテンが見つからず、ガーメントケースや服をカーテンの代用にしている。10年以上かけて収集したファッションやサッカー関連の雑誌など、服以外のアイテムも見せて、自分らしさを全面に出した「大人のワンルーム」の完成。

10年かけて集めた服を見せる収納で活かす